

# 進学 Now!

石橋高校  
進路指導部  
保護者版 9月

2023.9

## 0. はじめに

「災害級」とまで言われた猛暑も少しずつ収まり、虫の音が響く季節になってまいりましたが、保護者の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。4月にスタートした新学年も半年が過ぎ、いよいよ新しい段階に進みますので、今回はこれからお考えいただくポイントをいくつかご紹介いたします。ご家族で時間を取って話し合っていたいただきたいと思います。

## 1. 大学入試の変化を感じていますか？

2023年度入試に関して様々な分析や検討が行われた結果が、ネット上を賑わせております。今年の3年生がチャレンジする2024年度入試にもいくつかの変化が予想されますので、正確な情報を十分に集めてご検討いただきたいと思います。また、1・2年生の保護者の方々も、このような変化を肌で感じていただき、時間をかけてご検討いただきたいと思います。

### ① 2024年度入試は新課程入試の前年入試に当たります。

2024年度入試の最大の特徴は、翌年2025年度入試の前年に当たるということです。ご存じのように、今の高校2年生が受験する2025年度入試は高校の学習指導要領が改訂されてから初めての入試に当たります。いわゆる新課程入試です。新課程入試の前年入試を受験する受験生は手堅く受験する、いわゆる安全志向となる傾向があります。特にセンター試験へのリスニング導入前年の2005年度入試ではかなり手堅い受験行動が見られました。具体的には中堅の私立大学の志願者数が増加して難化したり、総合型選抜・学校推薦型選抜などの年内入試の志願者数が増加したりします。早く手堅く安全に入試を終わらせたい受験生の気持ちはよく理解できます。ただ、教科・科目などにそれほど大きな変更がない場合は、極端な安全志向とはならない年度もあります。

では、2025年度入試はどうかと考えると、リスニング導入ほどのインパクトではありませんが、新教科「情報」の共通テストへの導入は大きな影響があると思われます。また、今の高校3年生以上の学年にとって、地理総合、歴史総合、公共などは未知の科目です。文系の生徒でも数学Cが出題範囲になることも心理的な負担感を増すことでしょうか。こうして見ていくと現役生が安全志向となり、年内入試を意識するケースが多くなることが予想されます。

### ② 少子化の影響から学部学科再編へ → 一括募集の増加へ

少子化が進んでおりますが、大学は増設され、誰でも大学に入れる時代に突入しました。どの大学も「少しでも優れた学生を取りたい」と願っているため、大学再編の動きが活発化しています。魅力あるキャッチフレーズ、様々なサポート体制など、言葉巧みに広報しております。

最も注意が必要なのは、学部学科の再編により一見すると定員が増加しているように見える場合で、特に多くの学科をまとめて「一括募集」に切り替え、定員数を増やしているように見える場合です。実際には30+30+40+70 だった学科募集を一括して150人募集としています。これは20人減少しています。しかも、一括募集で入学後、2年生から専門課程に振り分ける際に、一年次の成績順に希望分野を割り振るケースが増えており、希望していない分野に回されてしまう学生も出てきております。

大学生になったら、自由な時間がたくさんあって、アルバイトもたくさんできる??という時代ではなくなってきています。十分に情報を収集し、家族で話し合う時間を大切にしてください。

### ③ 入試日程の確認を

特に例年と変わりませんが、入試の名称や種類が多様化してきていますので、どのような受け方がよいのかを見極める必要があります。国公立大学にも、前期・中期・後期だけで無

く独自日程を持つ大学がありますし、私立大学では、同じ学部を5回も受験できるケースがあります。お金のかかることですので、十分にご検討ください。

## 2. 3年生のこの時期

共通テスト出願の校内締め切りも終了し、準備は万全です。これからは生徒一人ひとりが自分の可能性を最大限に引き出す**努力の日々**となります。10月末までに外部模擬試験の進研模試(マーク・記述)、全統模試(マーク・記述)が終了しますと、そのデータをもとに、大学ごとの合否判定が検索できるようになります。データが出そろるのは受験の約1ヶ月後になりますので、11月末をお待ちください。

保護者の皆様にぜひお願いしたいのは、「**本校生の成績の伸びは、最後まで続く**」という応援です。これまでの本校生の例を分析しますと、12月・1月になって大きな伸びを見せる生徒も少なくありません。「焦りが最大の敵」です。時間がないという焦りが、落ち着いた勉強を妨げます。先輩たちも同じ道を通った、と考えてどっしりと構えてお子様の頑張りをサポートしていただければと思います。

## 3. 2年生のこの時期

高校生活の半分が経過し、部活動でも学校生活でも中心的な役割を担う立場になってきました。進路についても、模擬テストが**3教科型から5教科6科目型に変わり**、本格的に志望校を考える時期になりました。2学期末には、来年度の進学先の希望調査に基づき、「コースを選択」する必要があります。この選択によって、3年次のクラス分けや授業内容に違いが出てきますので、大きな選択になります。そして、その選択の基準になるのが志望大学の選択です。文型・理型は変更できませんが、受験したい大学によって「**国立コース**」と「**私立コース**」のいずれかを選んでいただきます。この希望調査は、2学期末に2回(の予定で)行われますので、ご家族で十分に話し合っておいてください。

本校では、私立クラス・国立クラスという分け方ではなく、国公立大学志望者のみのクラスと混合クラスが予定されています。部活動に全力で取り組みながらも、受験を意識した準備が必要になってきます。

## 4. 1年生のこの時期

高校生の生活にも慣れ、部活動と勉強のバランスも取れてきたことと思います。全国模試の結果を初めて見て驚いている生徒も多いと思います。中学校での学習や試験の成績は、あくまでも中学生の段階のものであり、高校生のそれは全く別物です。模擬テストの結果をご覧になりながら、学習への取り組み状況をご確認ください。

2年生同様に、1年生も2学期末までに次年度の準備が始まります。2年生からは、**文型・理型**を選択し、授業内容も大きく変化しますので、慎重な判断が必要です。得意な科目を中心に選ぶのではなく、将来の選択(志望校の選択)につながる判断が必要です。学習する内容も2年生から一気に難しくなりますので、**1年次の得意科目だけで判断するのは危険です**。大学の受験科目や大学進学後も必要な知識・教養を考慮して、じっくりとお考えください。まだ4ヶ月の時間がありますので、不明な点は遠慮なくおたずねください(3学期初めに最終決定します)。

## 5. 結びに

毎回申し上げておりますが、進学するためだけに高校生活があるわけではありません。学校生活を通じて、将来につながる様々な経験を積み、青春の短い時間を輝かせながら、未来を切り拓く力を身につけてほしいと願っております。

そのために大切なのが、「仲間」「保護者」「教員」の協力体制です。ともに高め合う仲間を得て、温かく見守り支援していただける保護者のもと、適切な指導と情報提供ができる教員が協力していく体制を築くことが何よりも大切です。お子様の希望をできるだけ叶えられるよう、全力で支援してまいりたいと思います。今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。

進路指導部